

肝細胞がんにおける GPC3 等分子発現に関する研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、2002 年から 2022 年 3 月 31 日の間に、肝細胞がんの外科的切除された患者さんの中で解析時に包括的同意が得られている患者さんを対象にします。診療に用いた後の組織検体の残りや病理診断情報を含む診療録などの診療情報を用います。

2. 研究目的・方法

肝細胞がんは、死因の上位を占める治療の難しいがんです。肝炎ウイルス感染や代謝等の様々な原因により引き起こされた慢性的に障害された肝臓から肝細胞がんは発生してきます。肝細胞がんに対する治療法は、より良いものが次々に開発されてきましたが、現在のところは、いまだ、根治が期待しにくい代表的な難治性がんであります。近年、免疫療法が世界的に注目されており、私達は従来の免疫療法よりも治療効果の高い、肝細胞がんに対する新しい治療法の開発を進めています。多くの患者さんの情報を集め、分子病理学的・臨床病理学的な検討を行って肝細胞がんの特徴を理解することは、新しい治療法の開発を進めることに役立つと考えられます。

本研究では免疫治療の標的となる分子・関連する分子の発現について肝細胞がんの詳細に調べ、新たな治療の開発に役立つ知見の探索を行います。

診療に用いた後の組織検体や診療録などの診療情報を用いて、がんの特性を臨床病理学のおよび分子病理学的に検討します。

研究実施期間：5 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療後の手術で摘出した残余組織検体 等

情報：病歴、カルテ番号、イニシャル、病理検体番号 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

海外(アメリカ合衆国)の共同研究機関(研究機関名：AstraZeneca, CPSS Pathology Lab、住所：1 Med immune way, Gaithersburg, MD 20878, U.S.A.)への試料等の提供を行います。共同研究機関との試料・資料・情報提供の際は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。試料の輸送は紛失リスクを最小化するために、輸送時に随時追跡可能であり、受け取り側の授受の確認が可能である、輸送方法を選択する。情報は電子的配信等をとることがある。アストラゼネカ社では個人情報の保護措置を講じています

公開原稿 第 1.2 版
作成日:2022 年 6 月 16 日

(https://www.astrazeneca.com/content/dam/az/PDF/GLOBAL_STANDARD-Data_Privacy.pdf)。データの解析結果を論文としてしかるべき医学雑誌での公表、学会発表を実施します。

5. 研究組織

国立がん研究センター 平岡伸介
アストラゼネカ株式会社 Eric Tu

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センターEPOC 病理臨床検査 TR 分野 平岡伸介
〒104-0045 中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511/ FAX 03-3543-5073

研究代表者/研究責任者：

国立がん研究センターEPOC 病理臨床検査 TR 分野 平岡伸介